三月鹿ノ台教室誌上句会　優秀句

お題「別れる」（連記）　橘正清選

先逝くと共に譲らぬ終の順　　充
生きてれば千度顔出す別れ道　　広子
タレントの別れ話に咲かす花　　幸男
明日までの別れにしてはながいキス　　義雄
ふられてもこりずに次を期待する　　登美
底ぬけに輝いている巣立つ子ら　　えいじ
あの二人口を開けば離婚する　　千楽
カラオケの締めは必ずなごり雪　　英二
メールアドそっと手渡す別れ際　　乃り子
右左どちらにあるか落とし穴　　春代
花嫁の父はその夜は飲み潰れ　　アキラ
もう二度と逢えぬ尾灯が遠ざかる　　よう子
本当の別れ火葬場の別れ　　ミノル
別れると夫婦が話す山歩き　　宏樹
ジ・エンドのことば景色に守られる　　哲子
秀　雪もよう変ロ長調のお別れ　　ちさと
軸　行間に決別をして天に入る　　正清

お題「走る」　坪田登美選

キンコンカン始業の鐘に走る子等　　春代
あちこちに痛みが走る年齢となる　　えいじ
先走りしすぎ嫉妬の目がささる　　よう子
活断層走る近くに住む不安　　乃り子
またメール虫ずが走る部長から　　えいじ
生きがいを持つ人ほどに足早く　　充
朝刊が夜明けの街を走り抜け　　ミノル
今日もまた静けさ破る救急車　　アキラ
気持ちだけ走るが足がついて来ぬ　　アキラ
かげろうをつかまえに行くまっしぐら　　ちさと
ゴールなど無いと知りつつ走ってる　　広子
秀　早春が小走りに来る世知辛さ　　ちさと
軸　ウイルスの病千里をひた走る　　登美

お題「いきなり」　播本英二選

相席の他人も急に富士山だぁ　　乃り子
予告抜き海外異動やって来た　　千楽
人身事故にラッシュアワーが襲われる　　義雄
突然の離婚届にある覚え　　幸男
まだ十日唐突すぎるプロポーズ　　哲子
唐突に職を変えるという夫　　春代
いきなりで本音をただす技もあり　　ミノル
いきなりの挙式の後を追う離婚　　義雄
雇止め寮追い出されホームレス　　アキラ
こんにちは肩たたかれてマスク顔　　登美
唐突の古稀祝いです花粉症　　広子
秀　ご家族に話があると医者が言う　　アキラ
軸　いきなりの電話にロクなことはない　　英二

自由吟（共選）　勝部乃り子選

結果聞き病院出たら青い空　　宏樹
魂を入れず仏を作る国　　アキラ
よろこびも悲しみも越え共白髪　　登美
青春は夜汽車に軋む安下宿　　義雄
翁媼を横に追いやる雛祭り　　幸男
散り際の美学知らぬか森翁　　登美
霞が関本屋文春在庫なし　　英二
裸婦像に生なましさの誘い水　　ちさと
父母の苦労をやっと知りました　　アキラ
ごめんなさい詫びる涙を拭いてやる　　義雄
棒針から生まれ膨らむ夢を編む　　春代
秀　始末書のような日記を今日も書く　　宏樹
軸　言い残すことの有りげに椿散る　　乃り子

自由吟（共選）　奥村義雄選

よろこびも悲しみも越え共白髪　　登美
大臣も知事も狼少年に　　英二
春を待つ気持ちばかりが早回り　　えいじ
コロナなど素知らぬ顔で桜咲く　　充
あとを濁さぬ鳥で飛びたく身繕い　　よう子
春はすぐコロナ蹴散らし出かけよう　　えいじ
シースルー春の兆しを誘い込む　　ちさと
魂を入れず仏を作る国　　アキラ
又もかと忖度透ける官の闇　　哲子
遠い日に飛んで競った水たまり　　広子
始末書のような日記を今日も書く　　宏樹
秀　棒針から生まれ膨らむ夢を編む　　春代
軸　青春は夜汽車に軋む安下宿　　義雄

四月誌上句会　投句〆四月十日　各二句

「顔」（連記）山神春代選

「きっと」奥村義雄選　「研ぐ」八木哲子選

自由吟（共選）前田幸男　澤山よう子選

＊メール又は封書　アキラ迄